

NO.13 新宿ルミネ1

■ 屋上緑化面積：約 456 m ² （ウッドデッキ等含む）	■ 竣工年：2007 年	■ 設置費：約 1,470 万円
■ 建物：百貨店、SRC+S 造、地上 8 階建	■ 住 所：新宿区西新宿 1-1-5	



▲ウッドデッキの休息空間



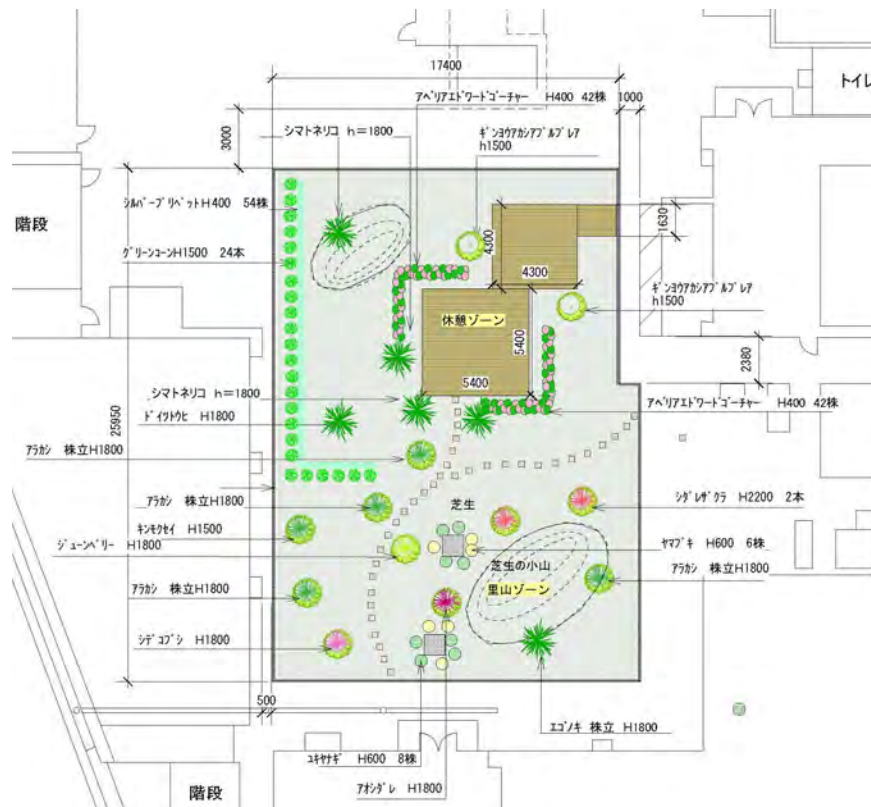
▲芝地内の散策路



▲芝地のゆるやかなマウンド

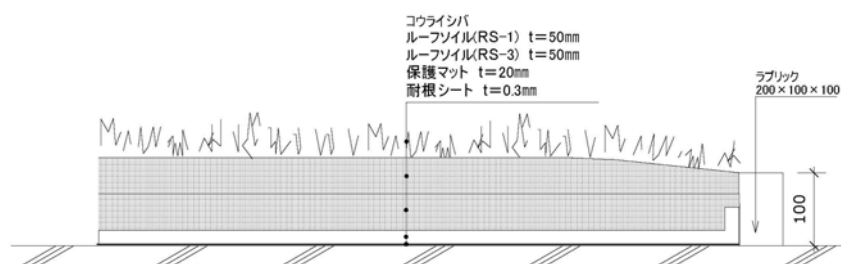
- 緑化の目的・動機：断熱性の向上。冷房エネルギーの低減。スタッフの福利厚生。
- 緑化による効果等：スタッフの緑化への関心・エコ活動への関心が高まった。スタッフのコミュニケーションの場・リフレッシュの場として利用されている。
- 工夫点・留意点等：スタッフが緑の中でくつろげる空間づくりを工夫。排水計画や構造上の荷重制限に合わせた植栽や設備の選択・配置計画などに留意。

- 建物竣工年：1976 年 ■ 屋根：アスファルト防水+保護コンクリート
- 設計積載荷重：床荷重 180kg/m²、柱梁荷重 130kg/m²、地震荷重 60kg/m²
- 緑地平面図



- 植栽樹種
 - 高木 グリーンコーン、シマトネリコ、ドイツトウヒ、アラカシ、キンモクセイ
ジュンベリー、シデコブシ、アオシダレなど
 - 低木 アベリアエドワード・ゴーチャー、シルバープリペットなど
 - 芝生 402 m²

- 設備機器 自動灌水設備
- 設置重量 単位面積当たり 約 125kg/m² (全体 56,941kg)
- 構造詳細 芝生部分・ルーフソイル断面詳細図



防根シート：ポリエチレン t0.3mm、保護マット：合成繊維不織布 t20mm、
土壌：ルーフソイル（腐植泥炭配合軽量土壌）、その他：土留材ラブリック（リサイクルミルガ）

- 緑地の維持管理
 - 管理会社に委託：管理頻度 8 回／年
 - 低木刈込・高木手入（2 回／年）、芝生手入（7 回／年）
 - 灌水装置点検（8 回／年）
 - 管理のポイント：除草、散水のコントロール
 - 維持管理費：約 3,000 円/m²

- 緑地設計者：(株) マサキ・エンヴェック
- 緑地施工者：(株) マサキ・エンヴェック

NO.14 JR恵比寿ビル

■ 屋上緑化面積：約 1,134 m ²	■ 竣工年：2009 年	■ 設置費：約 12,200 万円
■ 建物：駅舎・店舗等、S 造、地上 15 階建	■ 住 所：渋谷区恵比寿南 1-5-5	



▲上空写真・緑地全景



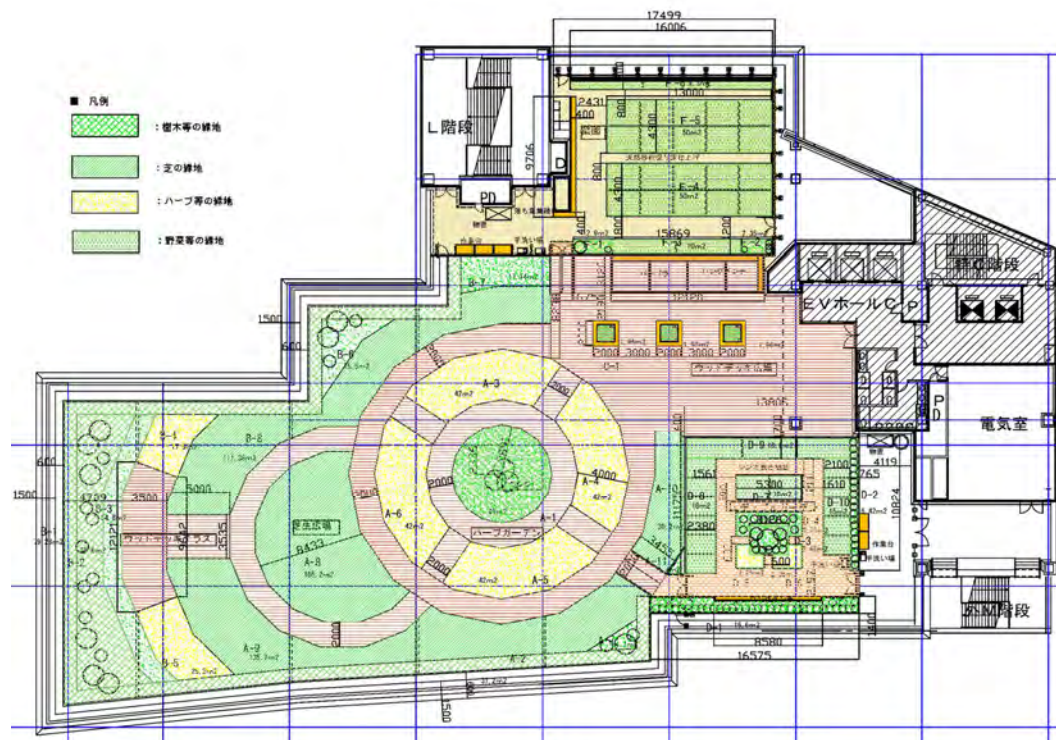
▲中央広場



▲休息コーナー：高木植栽とウッドデッキ

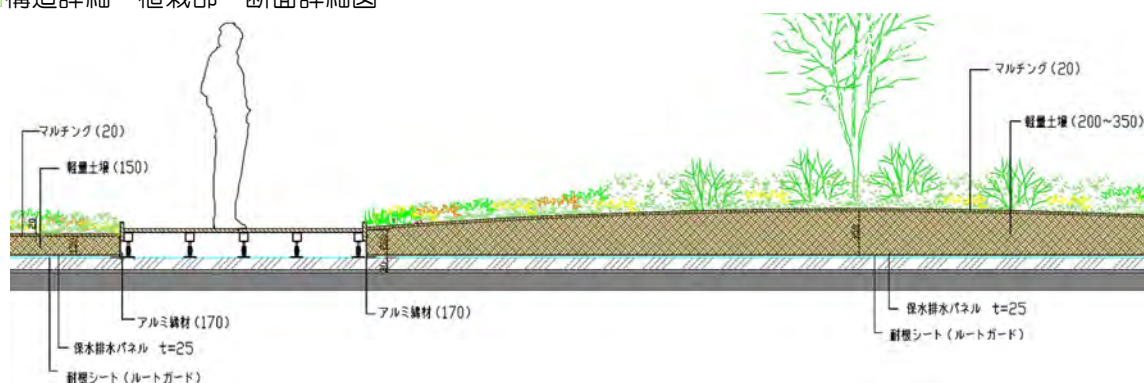
- 緑化の目的・動機：環境保全活動の一環として、ヒートアイランド現象の軽減効果のある屋上緑化を都心の駅ビル等で推進している。
- 緑化による効果等：
冷房エネルギー、CO₂の削減。地域の皆様の憩いの場の提供。
- 工夫点・留意点等：荷重制限上、立体感を出すのに苦労した。また、風の強い場所の為、マルチング材や防風網等を工夫した。

- 建物竣工年：1997 年 ■ 屋根：アスファルト防水＋保護コンクリート
 ■ 設計積載荷重：床荷重 300kg/m²、柱梁荷重 240kg/m²、地震荷重 130kg/m²
 ■ 緑地平面図



- 植栽樹種
 中木 ヤマボウシ、オリーブ 低木 ツツジ、シャクナゲ、ムクゲ
 地被 ハーブ、花（季節ごとに植え替えている） 芝生 380 m²

- 設備機器 自動灌水設備
 ■ 設置重量 単位面積当たり 約 130kg/m²（全体 209,949kg）
 ■ 構造詳細 植栽部・断面詳細図

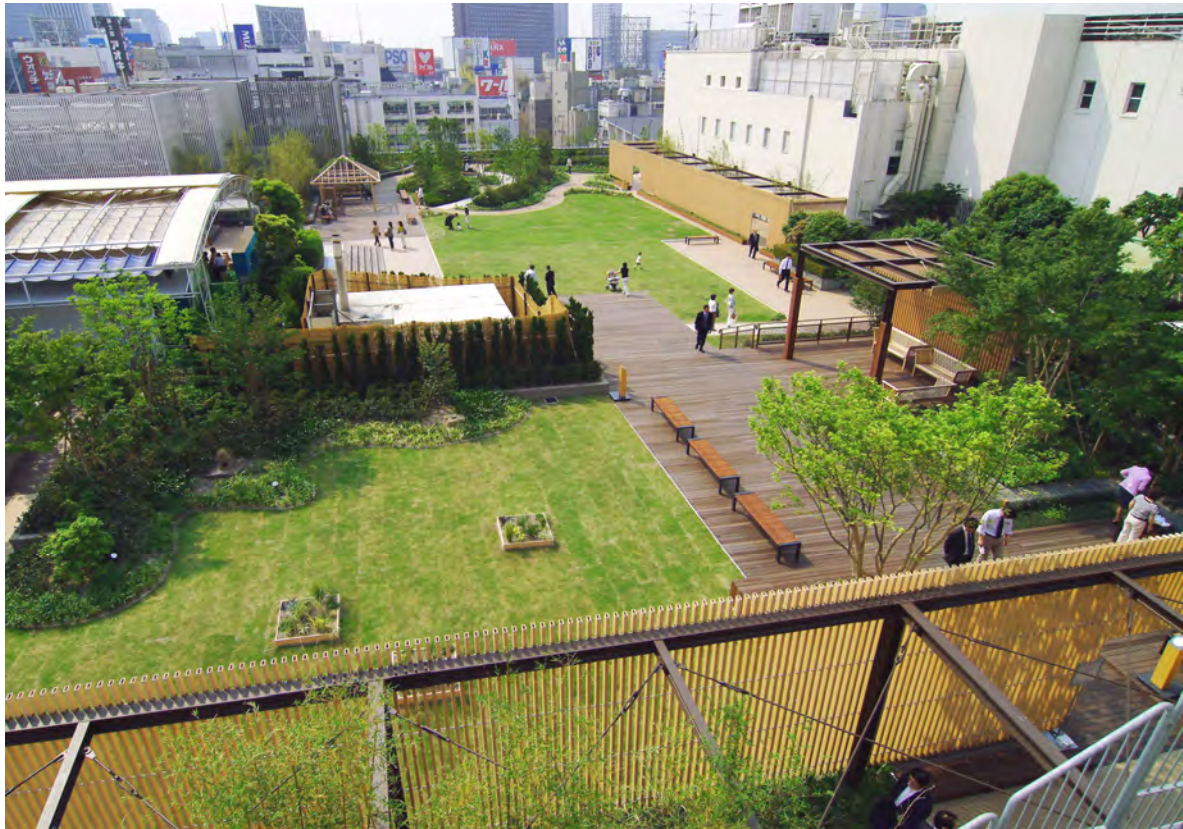


防根シート：耐根シート（三星ルートガード）、土壌：軽量土壌（ルーフソイル）
 排水層：保水排水パレット・透水フィルター・トリカルパイプ（有孔管）

- 緑地の維持管理
 管理会社に委託：管理頻度 12 回／年、低木刈込（2 回／年）、高木手入（2 回／年）
 芝生手入（12 回／年）、排水口点検（12 回／年）、灌水装置点検（4 回／年）
 維持管理費：約 1000 万円／年
 ■ 緑地設計者：（株）ジェイアール東日本建築設計事務所・ジェイアール東日本コンサルタンツ（株）
 設計 JV、協力・（株）ランドスケープデザイン
 ■ 緑地施工者：（株）マサキ・エンヴェック

NO.15 伊勢丹本店

■ 屋上緑化面積：約 1,690 m ²	■ 竣工年：2006 年	■ 設置費：約 25,000 万円
■ 建物：百貨店、SRC 造、地上 7 階建	■ 住 所：新宿区新宿 3-14-1	



▲上空写真：緑地全景



▲里山雑木林ゾーンと散策路



▲緑地へのアプローチ空間（E Vホール）

- 緑化の目的・動機：設備や耐震改修工事に合わせ、建物価値の向上を目的として「お客様へのおもてなしの心」をコンセプトに、都会の喧騒から逸れるアーバンオアシスとなる緑地を計画した。
- 緑化による効果等：お客様からは高い評価を得ている。都心にある芝生広場や里山の森は、お客様に憩いの空間として利用されているほか、鳥や昆虫が屋上に飛来し、新宿御苑につながるエコロジカル・ネットワークの形成にも寄与している。
- 工夫点・留意点等：緑量を必要とする個所はマウンド植栽（人工軽量土壌）とすることで、必要客土厚を確保し、軽量な芝生エリアとメリハリをつける計画とした。管理面では高木の樹高を維持する剪定とし、荷重増や強風による倒木にも対応している。

- 建物竣工年：1933 年～1965 年にかけ複数回増築
- 屋根：アスファルト防水
- 改修等：耐震改修及び防水改修（樹脂注入型防水）を実施済み
- 設計積載荷重：床荷重 300kg/m²
- 緑地平面図



■ 植栽樹種

- 高木 東梅桜、イロハモミジ、カマツカ、シマトネリコ、ソヨゴなど
- 中木 イヌマキ、キンカン、ミツマタ、ワビスケなど
- 低木 アセビ、マルバシャリンバイ、キンシバイなど
- 地被 スミレ、ピクトールシバなど

■ 設備機器 自動灌水設備

■ 設置重量 単位面積当たり 約 93～784kg/m²

■ 構造詳細 ———

防根シート：有、排水層：有、土壌：ラピュタソイルエコー

■ 緑地の維持管理

管理会社に委託：管理頻度 2～3 回／週

低木刈込（1 回／年）、高木手入（随時／年）、芝生手入（随時／年）

排水口点検（随時／年）、灌水装置点検（4 回／年）

管理のポイント：剪定、施肥、防虫、除草等を年に数回必要に応じて行う。

維持管理費：約 900 万円／年（光熱水費別）

■ 緑地設計者：清水建設（株）一級建築士事務所、（株）フィールドフォー・デザインオフィス

■ 緑地施工者：清水建設（株）、（株）日比谷アメニス

NO.16 玉川高島屋ショッピングセンター（本館・南館）

■ 屋上緑化面積：約 2,200 m ² （既存建築部での面積）	■ 竣工年：2003 年	■ 設置費： —
■ 建物：百貨店、既存建築部 RC 造、地上 6 階建	■ 住 所：世田谷区玉川 3-17-1	



▲くつろぎの坪庭：南館屋上・2003 年緑地新設



▲サウスガーデン：南館屋上・2003 年緑地新設



▲デッキテラス：本館屋上・2003 年緑地改修

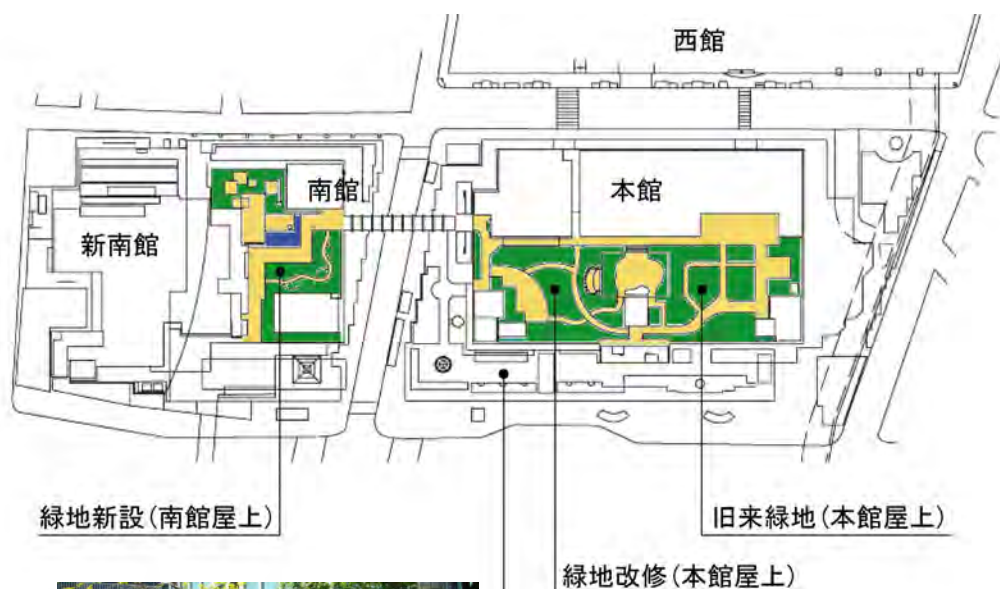
- 緑化の目的・動機：1969 年の開業当初から屋上の庭園化に取り組み、2003 年の南館増築を機に、本館屋上庭園の改修と南館屋上庭園の増設を行い「ニューアーバンアダルトガーデンシティー」をコンセプトとした約 4,100 m²の国内最大級の屋上庭園を完成させた。
- 緑化による効果等：ヒートアイランド対策等環境への配慮、地域の方々への社会貢献、及び憩いの場として利用して頂きたい、屋上庭園を提供している。管理が行き届いた空間で子供を安全に遊ばせる事ができ、身近に自然を感じられるとして、お客様に好評を得ている。
- 工夫点・留意点等：憩いの場としてのテーマ設定、ゾーニングに配慮した。また、植物の多様性（ハーブ、果樹等）に配慮した。

■建物竣工年：本館 1969 年・南館 1977 年（新南館増築 2003 年）

■屋根：アスファルト防水＋保護モルタル

■設計積載荷重：床荷重 300kg/m²

■緑地平面図



ローズガーデン改修(本館3Fテラス)

<2003 年、本館 3 階のローズガーデンも改修>

■植栽樹種

高木 クスノキ、ヤマモモ、マテバシイ等
 中木 オリーブ、イロハモミジ、サザンカ等
 低木 アベリア、プリペット、バラ等
 地被 ハーブ、ヘデラ、ヤブラン、ベアグラス等
 芝等 約 400 m²

■設備機器 自動灌水設備

■設置重量 単位面積当たり 約 150kg～200g/m²（土壌の荷重）

■構造詳細

防根シート：一部敷設有り、土壌：人工軽量土壌（真珠岩パーライト）
 排水層：不織布・構造用発泡スチロールを通して既存排水溝へ

■緑地の維持管理

管理会社に委託：管理頻度 365 回／年

低木刈込（2 回／年）、高木手入（10 回／年）、芝生手入（3 回／年）、
 排水口点検（12 回／年）、灌水装置点検（12 回／年）

管理のポイント：常駐作業員配置により綺麗で安全な環境維持を心がけている。

維持管理費：労務費、水道光熱費が発生。

■緑地設計者：（株）乃村工芸社

■緑地施工者：（株）グリーンワイズ

NO.17 ホテルニューオータニ（本館）

■ 屋上緑化面積：約 2,935 m ²	■ 竣工年：2007 年	■ 設置費：約 12,390 万円
■ 建物：ホテル、S 造ほか、地上 17 階建	■ 住 所：千代田区紀尾井町 4-1	



▲17 階円形レストラン前の屋上緑地



▲レストラン内からの眺め

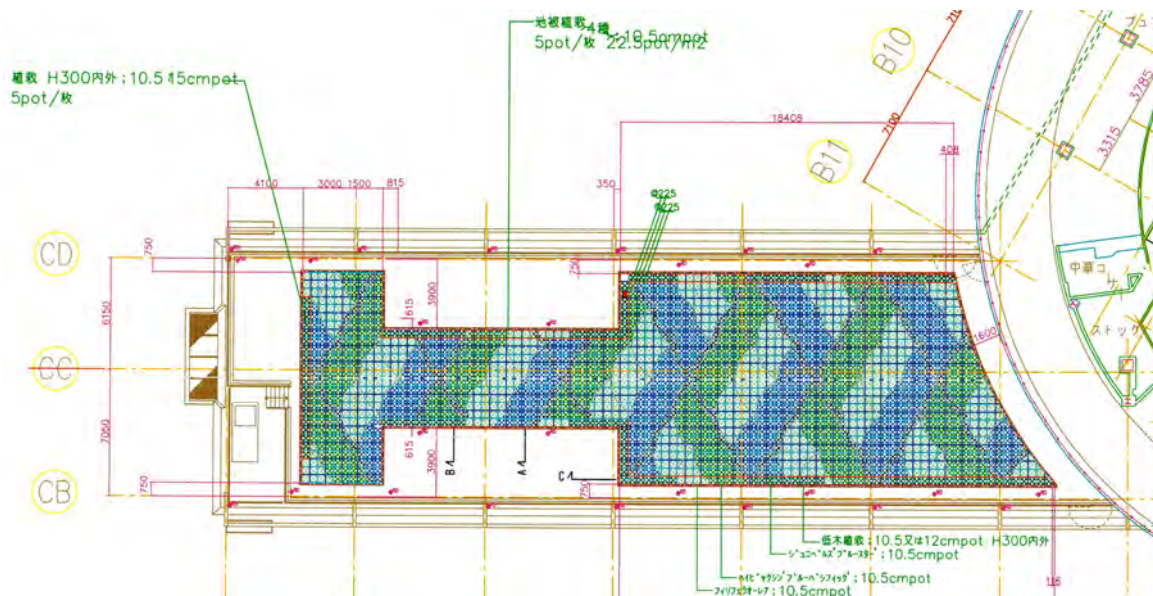


▲固化成型緑化基盤に地被や低木を植栽

- 緑化の目的・動機：レストラン・客室からの眺望・景観等の向上のため計画。（屋上緑化は紀尾井町特定街区において義務付け。）
- 緑化による効果等：レストラン周景の向上、屋上蓄熱の軽減。
- 工夫点・留意点等：高層緑化につき、風対策及び緑化基準を満たす高さの確保に配慮。固化成型緑化基盤により、土壌の飛散を防止。育成させることに時間を要した。

■建物竣工年：1964 年 ■屋根：塩化ビニールシート防水 ■設計積載荷重：床荷重 60kg/m²

■緑地平面図



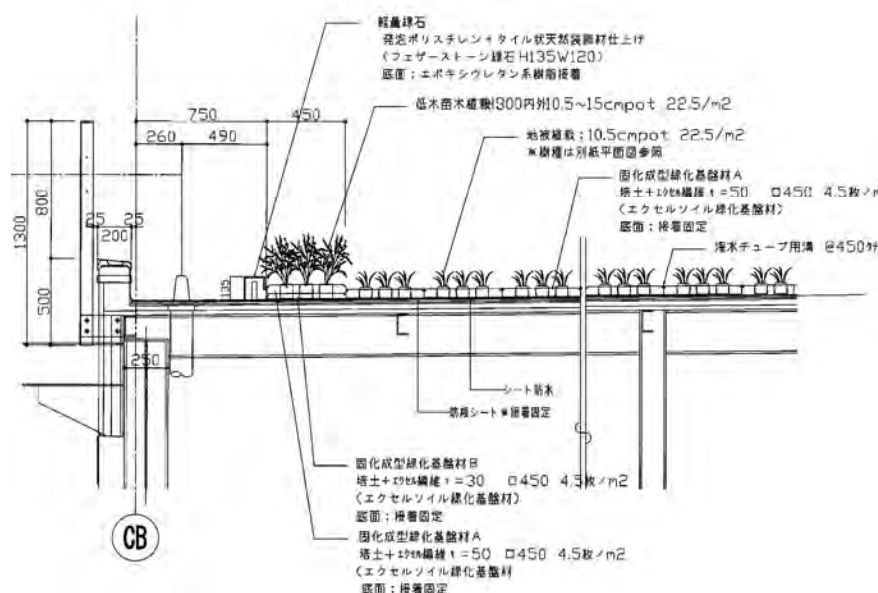
■植栽樹種

低木 フィリフェラオーレア、ナワシログミ
 地被 ブルーパシフィック、ブルースター、フィリヤプラン

■設備機器 自動灌水設備

■設置重量 単位面積当たり 約 48kg/m²

■構造詳細 植栽部・断面詳細図



防根シート：ポリエチレン t0.3mm、土壌：エクセルソイル（固化成型緑化基盤）
 排水層：不織布

■緑地の維持管理

管理会社に委託：管理頻度 5 回／年

低木刈込（5 回／年）、排水口点検（5 回／年）、灌水装置点検（1 回／年）

維持管理費：約 450 万円／年

■緑地設計者：（株）日建設計

■緑地施工者：大成建設（株）